

武居用拙 たけけ 漢學者。文化十二年一月十五日信濃國木曾藩島生れ、  
 明治二十五年六月十一日没（一八六一—一九二一）。諱 たけ 愨、字 たけ 文甫、通稱拙藏。  
 東上して古賀桐庵に就き、昌平校學問所の塾生。嘉永四年福島城下の  
 善哉館塾頭となり、洋學を志す者 むかひ たり。明治五年家塾を開き、五十八歳  
 公して筑摩縣師範講習官の塾生、人の教育界にも活動。また東京都の遊學中、  
 十八歳を没した長男の、出生からその死を悼むまがの漢詩集『紙積吟  
 抄』（明治十一年刊）を出版。十二年高弟の民権運動家松澤永策を代  
 表者とすゝる政治結社 しんしやうやうしや 天社を命名した。十九年在京中、同家の寄寓  
 してゐた少年高崎藤村に「左傳」、「詩經」を教へたことなどがあり、そ  
 の後の藤村作品に描かれてゐる。（二十年歸郷して『岐蘇古今江沿革志』  
 （大正三年刊）を著した）。

千原勝美訳注・市川本太郎校閲『紙積吟抄』（昭和二十七年九月十日）

長野・東筑摩塩尻教育会）がある。

